

通信によるデータ提供のサービスについては特に多くの関心が示され、情報網の面での最大の利器になりつつあるとの感を深めた。また、夜空の明るさに関しては、香西が参加している環境庁主導の星空継続観察——スターウォッチングの行事に参加している方もあり、現状の把握と将来への展望、そしてこの行事の継続とを大きな関心を持って話し合われた。

今回の出席者についてみると、その職業の分布はプラネタリウムなどの社会教育施設で普及に務めている方：19名、高校教諭：6名、中学校教諭：8名、小学校教諭：5名、大学：1—(計39名)、また地域分布は北海道：1名、関東甲信越：27名、東海：6名、近畿：2名、中国、九州、沖縄各1名であった。

この地域分布でみると、東京での開催ということもあり関東甲信越からの参加者が全体の70%を占めていることは当然として、今後は東京以外の地にての開催を考慮してほしいとの強い要望があったことを付言しておきたい。尚、今回の講習会に使用した要項の残部があります。ご希望の方は自分の住所氏名を書き210円切手を貼ったB5判の封筒を同封の上、下記までご請求下さい。

〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台情報普及室

指導者講習会要項係

(香西洋樹)

カーネギー協会理事に京セラ会長稲盛和夫氏が就任

米国の民間研究機関であるカーネギー協会 (Carnegie

Institution) は天文学の分野では重要な位置を占めている。ウイリソン山天文台 (カルフォルニア) とラスカンパネラ天文台 (チリ) を運営しており、所員には所長 L. Searle の他 A. Dressler, W. Freeman, W. Hiltner, J. Kristian, S. E. Persson, G. W. Preston, A. Sandage, S. A. Shectman, R. Weymann, それに V. Rubin が DTM (Dept. Terrestrial Magnetism, Washington DC) 所属であり、そうそうたる天文学者群を擁している。歴史的には Hale, Hubble, Babcock らが活躍した舞台であり、特に Hale は協会の運営にも関与した。ともかく天文学とこの協会の関係は深いものである。

協会は1901年 Andrew Carnegie の寄付で発足し、天文学、地球物理、生物学などの基礎研究を支援してきた。現在は天文台 (The Observatories) の他に上記の DTM, Geophysical Laboratory, Dep. Plant Biology, Dept. Embryology を運営している。理事会は財界人と研究者から構成されており、天文学関係では C. H. Towns, Sandra M. Faber の名がある。稲盛氏は1990年10月に、The National Academy of Sciences の President である Frank Press の推挙や京都賞の設立の評価等により、日本人としては初めて理事に就任した (米国人以外の理事としては2人め)。現在、他の財界のメンバーには Dupont, Hewlett & Packard, Johnson and Johnson, Dow Chemical 等の会長が名を連ねている。理事会は年一回、年度内の活動を再吟味し、次年度の活動方向を決定するために開かれる。この他に理事は年4回ある実行委員会に出席して意見を述べることが出来る。

日本の天文学にとっても関心のある情報だと思うので紹介する次第である。 佐藤文隆 (京大理)

## お知らせ

### 国立天文台光学赤外線天文学分野教官公募

公募人員：教授1名、および助教授1名

公募分野：光学赤外線天文学 (光赤外計測部門)

本台では、平成3年度より8年計画での建設が始まった大型光学赤外線望遠鏡計画を推進しており、光赤外計測部門はその一端を担う新設部門です。国内及びハワイでの望遠鏡建設に強い研究意欲をもって参加し、計画の責任を分担して積極的役割を果たす教授、及び計画全般、特に装置の開発研究・製作などの面で積極的役割を果たす助教授を希望します。

着任時期：決定後なるべく早い時期

応募資格：大学院博士課程終了、またはそれと同等以上の方。

提出書類：(1) 略歴書、(2) 研究歴、(3) 論文リスト及び主要論文別刷、(4) 自薦の場合、研究計画、及び本人について意見を述べられる人二名の氏名と連絡先、(5) 他薦の場合、推薦書 (必要に応じ選考に必要な資料を被推薦者に請求することがあります)。

(注) 教授か助教授志望の別を必ず明記のこと。

提出先：〒181 三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台 台長 古在由秀

公募締切：平成3年8月12日 (月) 必着

問合せ先：国立天文台光学赤外線天文学研究系主幹

小平桂一

TEL 0422-41-3601

その他：封筒の表に「光赤外教授 (または光赤外助教授) 人事応募書類在中」と朱記し、簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営協議委員会において行います。

**国立天文台電波天文学分野教官公募**

公募人員: 教授1名

専門分野: 宇宙電波天文学

野辺山宇宙電波観測所ではこれまで45m望遠鏡, ミリ波干渉計を使って宇宙の観測的研究を進めてきましたが, 今後はサブミリ波天文学とミリ波干渉計増強計画などを重点課題としてこの分野での研究を大きく発展させようとしています. 宇宙電波グループの研究体制の中心となり, サブミリ波天文学, とくにスペースへの足がかりをつけるなどの研究を強力に推進する研究者を希望します.

着任時期: 決定後なるべく早い時期

所 属: 国立天文台・野辺山

応募資格: 大学院博士課程修了またはそれと同等以上

提出書類: (1) 履歴書, (2) 研究歴, (3) 論文リスト及び主要論文の別刷(共著の場合はその役割分担), (4) 自薦の場合は研究計画と本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先, (5) 他薦の場合は推薦書(必要に応じ, 被推薦者に資料を請求することがあります).

提出先: 〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台 台長 古在由秀  
(封筒に「宇宙電波応募書類」と朱記し, 簡易書留でお送り下さい)

公募締切: 平成3年8月12日(月)必着

問合せ先: 〒384-13 長野県南佐久郡南牧村野辺山  
国立天文台・野辺山 石黒正人  
(TEL: 0267-63-4396)

その他: 選考は, 国立天文台運営協議委員会において行います.

**国立天文台野辺山太陽電波研究分野教授公募**

1. 公募人員 教授1名

2. 所属部門 国立天文台野辺山(太陽電波)

3. 専門分野 太陽電波天文学

野辺山の太陽電波グループは電波ヘリオグラフを建設中であり, また, 宇宙科学研究所でこの夏に打ち上げを予定しているSOLAR-A太陽観測衛星の製作に参加している. これらの観測装置から優れた科学的成果をひきだすとともに, その成果を踏まえて国立天文台の太陽グループがスペースへ出て行く体制を作る上で指導的中心的役割を果たす研究者を希望します.

4. 着任時期 決定後なるべく早い時期

5. 勤務地 野辺山

6. 提出書類 履歴書, 研究歴, 論文リスト及び主要論文別刷(共著である時はその役割分担), 着任後の研究計画, 応募者について意見を求め得る人2名の氏名と連絡先(封筒に「太陽電波応募」と朱記)

7. 公募締切 1991年8月12日(月)必着

8. 宛 先 〒181 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台 台長 古在由秀

9. 問合せ先 〒384-13 長野県南佐久郡南牧村野辺山  
国立天文台野辺山 鯨目信三  
TEL 0267-63-4371

10. その他 選考は国立天文台運営協議委員会において行います.

**東京大学理学部天文学教室教官公募**

1. 公募人員 助手1名

2. 専門分野 天文学及び天体物理学

3. 提出書類 履歴書, 研究経歴, 論文リスト  
主要論文別刷, 研究計画書

4. 公募締切 平成3年7月25日

5. 着任時期 決定後出来るだけ早い時期

6. 宛 先 〒113 東京都文京区弥生 2-11-16  
東京大学理学部天文学教室  
主任 内田 豊

7. 問合せ先 同上(電話 03-3812-2111 ext 4260)

**宇宙科学研究所教官公募**

この度, 下記の要領により, 教官公募を行いますので, 広く適任者の推薦, 応募を求めます.

1. 公募人員 助手1名

2. 所属部門 宇宙圏研究系: 高エネルギー天体物理学第1部門

3. 専門分野 飛翔体を用いた, 高エネルギー放射線(X線ガンマ線等)の観測による天体物理学の研究, および測定技術の開発. 同研究系には, 現在, 高エネルギー天体物理学第1, 第2, 第3各部門及び赤外線天体物理学部門があります. 高エネルギー天体物理学第2, 第3部門と緊密に協力しつつ研究を行うと共に, 大学共同利用機関としての本研究の任務を充分理解し, 当該分野の科学衛星計画その他共同利用諸計画の遂行に積極的な役割を果たす方を希望します.

尚, 当該部門には教授・小川原嘉明, 助教授・長瀬文昭, 助手・満田和久が在籍

- しています。
4. 着任時期 決定後なるべく早い時期に着任を希望します。
  5. 提出書類 (1) 略歴 (2) 研究歴 (3) 論文リスト及び主要論文別刷 (4) 研究計画書(自薦の場合のみ) (5) 他薦の場合: 推薦書2通, 自薦の場合: 本人について意見を述べられる人2名の氏名, 連絡先。
  6. 公募締切 平成3年10月15日(火)必着
  7. 宛先 1. 宇宙科学研究所 所長 西村 純  
〒229 神奈川県相模原市由野台  
3-1-1  
電話(代表) 0427-51-3911  
2. 問い合わせ, 及び資料の請求は下記に願います。  
宇宙圏研究系主幹 田中靖郎  
内線 2615
  8. その他 選考は, 宇宙科学研究所運営協議員会議において行います。適任者がいない場合, 決定を保留することがあります。封筒の表に「助手応募(推薦)書類在中」と朱で明記して下さい。

#### 神戸大学理学部地球科学教室教官公募

1. 公募人員 理学部教授1名
2. 所属講座 地球物理学
3. 分野 広い意味での地球物理学
4. 応募書類 1) 履歴書  
2) 研究業績目録  
3) 主な論文の別刷  
4) 参考意見を伺うことができる方(2名)の氏名と連絡先  
5) これまでの研究内容とこれからの研究・教育に対する抱負(4000字以内)
5. 応募締切 1991年9月30日
6. 就任時期 1991年度内の予定
7. 宛先 〒657 神戸市灘区六甲台町 1-1  
神戸大学理学部地球科学教室 伊東敬祐  
「教官応募書類在中」と朱書き, 簡易書留にて郵送
8. 問い合わせ先 教室主任  
電話 078-881-1212 内線 4471  
FAX 078-882-1549

#### [公募の主旨]

当教室の研究分野は, 固体地球科学を中心とする特色のある構成になっています。1990年度の学生臨時増に伴う講座外人事では, 分野として太陽系物理学を新たに

加え, 1992年度には惑星科学講座が新設されることになっています。このように当教室は, 教育・研究分野の一層の拡張を積極的に進めています。今回の教官公募でも「固体」を中心とする特色を変えるものではありませんが, 広い視野から現在の構成員と共通の場を持つ「広い意味での地球物理学」の研究者を求めています。「広い意味での地球物理学」とは, 固体地球物理学に限らず, 例えばAGUがカバーしている範囲とお考え下さい。

#### 第24回日本アマチュア天文研究発表大会のご案内

標記大会が浜松市で開催されます。

1. 日時 1991年10月27日 9:30~17:00
2. 会場 クリエイト浜松  
(JR浜松駅から徒歩約8分)

問い合わせ先 〒430

浜松市福島町 242-1 浜松市天文台内  
アマ浜松大会実行委員会  
Tel. 053-425-9158

#### 東京大学理学部天文学教育研究センター

##### 木曾観測所特別公開のお知らせ

日時 1991年8月3日(土), 4日(日)

(両日とも午後1時半から4時迄)

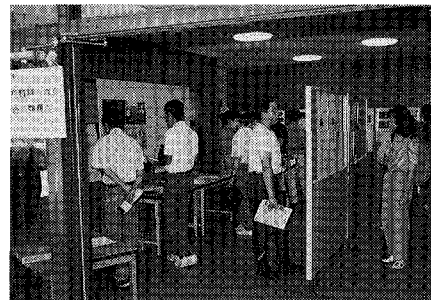
場所・連絡先 〒397-01 長野県木曾郡三岳村樽沢  
東京大学 理学部 天文学教育研究センター  
木曾観測所 電話 0264-52-3360

展示内容 シュミット望遠鏡のデモンストレーション。  
天体写真(モノクロ, カラー)の展示。  
スライド上映, 研究活動の紹介等。  
(一般の方を対象にしています)

交通 JR中央西線 木曾福島駅あるいは上松駅より  
車で約25分(12km)。観測所から6kmのところまではバスが通っていますが(1日数本)他には交通の便がありません。

駐車場 有り。

売店等 食事等のための売店はありません。



**宇宙科学研究所（相模原キャンパス及び鹿児島宇宙空間観測所）一般公開の開催について**

文部省宇宙科学研究所  
後援：(財)宇宙科学振興会

宇宙科学研究所相模原キャンパス及び同研究所鹿児島宇宙空間観測所の一般公開（施設公開・展示公開及び講演と映画の会）を ISY（国際宇宙年）記念企画として下記のとおり実施する予定です。

なお、入場は無料です。

◎相模原キャンパス

\* 展示公開

日時：7月27日（土）  
午前10時～午後4時30分  
場所：文部省宇宙科学研究所  
（相模原市由野台 3-1-1）

\* 講演と映画の会

日時：7月27日（土） 時間未定  
場所：国民生活センター（相模原市弥栄 3-1-1）

◎鹿児島宇宙空間観測所

\* 展示公開

日時：8月11日（日） 時間未定  
場所：文部省宇宙科学研究所鹿児島宇宙空間観測所（鹿児島県肝属郡内之浦町南方 1791-13）

\* 講演と映画の会

日時：8月11日（日） 時間未定  
場所：文部省宇宙科学研究所鹿児島宇宙空間観測所

問い合わせ先 文部省宇宙科学研究所一般公開係  
電話 0427-51-3911

**関西天文同好会創立 20 周年記念研究助成金について**

関西天文同好会において創立 20 周年を記念し表記事業を実施します。アマチュアのア天文研究を奨励すると共にプロの方々からの指導、助言を広く賜り交流をはかりたいと思います。

記念式典及び発表会 1991年11月24日（日）

場 所 京都（詳細は後日決定）

a. 研究発表募集要項

資 格：アマチュア及びアマチュアのみで構成される団体

研究内容：天文学に関するもの 1人何点でも可  
既に他で表彰を受けていない内容のこと  
研究途上の場合は完成見込みのあること

提出書類：発表内容について詳しく述べた研究論文

B5用紙10枚以内（含む図表）、書式自由

提出期限：1991年9月末日

提出先：関西天文同好会（下記）

助成金：総額20万円を1～2名程度に支給する

選考結果は1991年11月24日記念式典にて発表

b. 選考委員公募

資 格：天文学研究を職業とするか、またはそれに準ずる方で、アマチュアの活動に理解関心のあること

募集人数：制限しません

選考作業：①研究発表会に参加できる方は事前の書類審査と当日の選考作業

②研究発表会に出席できない方は事前の書類審査のみ

期 限：8月20日までに当会に資料を請求してください

そ の 他：誠に恐縮ですが選考委員の方に諸経費は支給できませんのでボランティアとして引き受けていただける方に限ります。

c. 応募、問い合わせ先

〒604 京都市中京区丸太通り堺町西入 佐竹ビル 2F

関西天文同好会（担当 佐竹真彰）

TEL. 075-231-3731（呼） FAX. 075-256-5092

**日本証券奨学財団平成3年度研究調査助成募集**

上記について、学会宛に募集要項がとどいています。この助成金は、学術文化の研究調査に従事している者に対し、その研究調査を奨励し、学術の振興をはかり、もって社会の発展と福祉に寄与することを目的としている。対象者は、大学において学術文化の研究調査に従事している個人又はグループとし、その研究者の年齢は55歳以下とする。（特に若く有為な研究者の応募を期待している）。対象は大学間にまたがるグループでもよく、代表者は55歳以下に限らない。なお研究調査分野の範囲で、理学及び工学については、新素材及び環境改善に関する萌芽的研究を重視する。

助成金の総額は5,000万円とし、多額の経費を必要とする特別研究調査は、1件につき500万円以内、一般研究調査は、1件につき100万円程度の範囲以内で助成を行う。

申請期間は平成3年6月1日から8月20日までとなっていますが天文学会での締切は8月10日とします。希望者は、本学会宛にご照会下さい。